会

議

午前10時 0分開会

議長（滝内久生君） おはようございます。

開会前ではございますが、市長より発言を求められておりますので、これを許可いたします。

市長。

市長（松木正一郎君） おはようございます。

開会前の貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。3件の事案について御報告いたします。

1件目は、1月20日午後1時34分、下田市四丁目地内で建物火災が発生いたしました。この火災の詳細につきまして、防災安全課長より後ほど説明を申し上げます。

2件目は、直近の新型コロナウイルス感染症の下田市内での感染状況についてでございます。市民保健課長より御説明申し上げます。

3件目は、昨日、下田市内の市立の保育施設に勤務する職員1名に新型コロナウイルス感染症の感染が確認されましたので、この件について教育長より御説明申し上げます。

私から以上でございます。

議長（滝内久生君） 防災安全課長。

防災安全課長（平井孝一君） 改めまして、おはようございます。

それでは、令和4年1月20日に発生した建物火災について報告いたします。

発生場所は、四丁目6番25号、こちらは下田保育所、ハローワークの裏道で、泰平寺墓地の近くとなります。その解体中の建物から出火いたしました。

火災概要。概要については、覚知日時、1月20日午後1時34分。鎮圧日時、同日午後2時54分。鎮火日時、同日午後3時47分。

出火原因及び概要について。出火原因は現在も調査中でございます。人的被害なし。焼損状況は、解体中の建物から出火、隣接建物4棟に延焼。罹災世帯、2世帯で3名となっております。損害額は調査中でございます。

活動状況といたしまして、下田消防本部、車両6台、人員19名が出動。下田警察署、車両4台、人員9名が出動。下田市消防団は、車両6台、人員47名が出動し、消防署とともに消火活動に当たりました。

以上、令和4年1月20日に発生した建物火災の報告でございます。

以上です。

議長（滝内久生君） 市民保健課長。

市民保健課長（井上 均君） 続きまして、資料の2枚目をお願いいたします。新型コロナウイルス感染状況についてでございます。

報告期間につきましては、本年、令和4年1月9日から2月6日までということで、昨年は9月29日まで感染者がおりまして、3か月半ぶりの感染が1月9日から始まったということでございます。

この期間の市内陽性者数につきましては102人、内訳につきましては、未成年者27人、成人38人、高齢者37人、累計ですと256例目となります。

市内のクラスターの状況でございます。この期間に2件ございました。1件目につきましては1月23日に、場所は学校、累計といたしまして、陽性者の数は11名ということで県のほうから報告を受けています。それから発生時の検査の状況でございます。濃厚接触者を特定し、検査を実施ということで報告を受けています。

続きまして、1月26日に発生いたしました音楽劇の観劇でございます。累計として22名ということで報告をいただいております。発生時の検査状況につきましては、濃厚接触者は自宅待機中、他の参加者は感染対策と発症時の受診の徹底を指示ということで報告を受けております。

この2日間ぐらい少し落ち着いてはございますが、県のほうからはこのクラスターの2件のほかは、関連する濃厚接触者の陽性確認というのが主なものではないかということで見えていただいております。

以上でございます。

議長（滝内久生君） 教育長。

教育長（佐々木文夫君） 私からは、公立保育所施設における新型コロナウイルスの感染状況について説明させていただきます。

公立保育施設におきまして、保育士1名の新型コロナウイルスの感染者が判明しました。複数の濃厚接触者が確認されていることから、2月7日、本日から2月10日までの4日間、一クラスをクラス閉鎖としましたので報告させていただきます。

なお、同日、保健所の助言も踏まえまして、濃厚接触者の特定及び施設の消毒を実施し、安全の確認をした上、その他のクラスにつきましては感染防止対策を十分講じまして、通常

どおり保育を実施しています。

私からは以上です。

議長（滝内久生君） ただいまの出席議員は定足数に達しております。

よって、令和4年2月下田市議会臨時会は成立いたしましたので、開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

会期の決定

議長（滝内久生君） 日程により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、本日1日間としたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって会期は、本日1日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に御通知いたしました案のとおりでありますので、御承知願います。

会議録署名議員の指名

議長（滝内久生君） 次は、日程により会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、議長において、9番 進士濱美君と10番 橋本智洋君の両名を指名いたします。

諸般の報告

議長（滝内久生君） 次は、日程により、諸般の報告を申し上げます。

最初に、議長会関係について申し上げます。

1月14日、第146回静岡県東部地区市議会議長会が御殿場市で開催され、副議長が出席いたしました。この議長会では、裾野市提出の「地域公共交通の維持・確保、多様な交通手段の構築に向けた支援制度の充実強化を求める要望について」、伊豆市提出の「GIGAスクール構想事業の補助制度の拡充について」の議案を審議し、可決されました。この提出議案2件につきましては、1月31日開催の静岡州市議会議長会定期総会に提出することに決定いたしました。

1月31日、掛川市で開催予定の静岡県市議会議長会正副会長・監事会議及び第162回静岡県市議会議長会定期総会が、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、書面による開催となり、過日、会務報告のほか、さきの県東部地区市議会議長会で可決した議案、令和4年度予算、役員の選任等13件の議案について書面表決をいたしました。その後、全ての議案について、了承または賛成された旨の報告を受けました。

また、令和4年度議長会役員について、下田市が、全国市議会議員共済会理事兼副会長に選出されました。

2月2日、静岡県地方議会議長連絡協議会の令和3年度第2回政策研修会が新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、オンラインでの開催となり、副議長と私が参加いたしました。この研修会では、東急株式会社交通インフラ事業部MaaS戦略課長の森田 創氏による「MaaSが切り開く地方観光地の未来」と題した講演がありました。

次に、都市交流について申し上げます。

12月21日、神奈川県葉山町へ江田邦明議員、中村 敦議員、鈴木 孝議員、橋本智洋議員と私の5名が表敬訪問し、葉山町議会の先進的な取組について意見交換を行いました。

次に、1月12日付で請願1件を受理いたしました。この請願第1号「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願は、請願文書表のとおり総務文教委員会に付託いたしますので、御了承願います。

次に、昨日までに受理いたしました要望書4件でございます。

静岡県保険医協会理事長、間間 元氏より提出のありました「おたふくかぜのワクチン助成制度の創設のお願い」及び「妊産婦医療費助成制度の創設に関する要望書」、付偉彤氏より提出のありました「母（毛嘉萍）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望」、大坂区自主防災会長、浅岡和久氏、弥七喜区自主防災会長、中村 彰氏連名により提出のありました「旧グランドホテル撤去について（要望）」、以上4件の写しを議席配付してありますので、御覧ください。

次に、今臨時会に市長から提出議案の送付と、説明員として出席する旨の通知がありましたので、係長をして朗読いたさせます。

庶務兼議事係長（中堀啓司君）朗読いたします。

下総総第17号。令和4年2月7日。

下田市議会議長、滝内久生様。静岡県下田市市長、松木正一郎。

令和4年2月下田市議会臨時会議案の送付について。

令和4年2月7日招集の令和4年2月下田市議会臨時会に提出する議案を、別紙のとおり送付いたします。

付議事件。

報第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第13号））、報第2号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第14号））、議第1号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（建築）請負契約の締結についての一部変更について、議第2号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更について、議第3号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について。

続きまして、下総総第18号。令和4年2月7日。

下田市議会議長、滝内久生様。静岡県下田市市長、松木正一郎。

令和4年2月下田市議会臨時会説明員について。

令和4年2月7日招集の令和4年2月下田市議会臨時会に、説明員として下記の者を出席させるので通知いたします。

市長 松木正一郎、副市長 曾根英明、教育長 佐々木文夫、企画課長 鈴木浩之、総務課長 須田洋一、教育委員会学校教育課長 糸賀 浩、財務課長 日吉由起美、観光交流課長 佐々木雅昭、産業振興課長 長谷川忠幸、市民保健課長 井上 均、福祉事務所長 斎藤伸彦、防災安全課長 平井孝一、建設課長 高野茂章。

以上でございます。

議長（滝内久生君） なお、説明員の出席につきましては、市長提出の議案の採決までとさせていただきますので、御了承願います。

以上で諸般の報告を終わります。

報第1号の上程・質疑・討論・採決

議長（滝内久生君） 次は、日程により、報第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第13号））を議題といたします。

当局の説明を求めます。

財務課長。

財務課長（日吉由起美君） おはようございます。よろしく願いいたします。

報第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第13号））につきまして御説明申し上げます。

議案件名簿の1ページをお開きください。

報第1号 専決処分の承認を求めることについてでございますが、地方自治法第179条第1項の規定により、専第10号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第13号）を別紙のとおり、令和3年12月16日に専決処分したことにつき、同条第3項の規定により、議会の承認を求めるものでございます。

別紙浅黄色の補正予算書及び補正予算の概要を御用意ください。

今回の補正予算は、国のコロナ克服・新時代開拓のための経済政策において、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、1点目として、様々な困難に直面した方々の生活支援として、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円を給付する臨時特別給付金、2点目として、子育て世帯への支援として、ゼロ歳から高校3年生までの子どもたちに対し、10万円相当の給付を行う臨時特別給付について、12月に補正計上した児童手当の仕組みを活用した給付以外の予算について、国の補正予算決定に合わせ、早急に支給すべきものとして、専決処分したものでございます。

それでは、補正予算書の1ページをお開きください。

令和3年度下田市の一般会計補正予算（第13号）は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7億1,054万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ136億9,448万円とするものでございます。

第2項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」によるというもので、予算書の2ページから5ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては、後ほど補正予算の概要により御説明申し上げます。

それでは、補正予算の概要について御説明いたしますので、恐れ入りますが、補正予算の概要の2ページ、3ページをお開きください。

歳入でございますが、福祉事務所関係、15款2項2目1節国庫・社会福祉費補助金5億6,108万円の増額は、住民税非課税世帯等への臨時特別給付に対するもの、同2節国庫・児童福祉費補助金1億4,946万7,000円の増額は、子育て世帯への臨時特別給付に対するものでございます。

続きまして、4ページ、5ページ、歳出でございますが、福祉事務所関係、3款1項1目1012住民税非課税世帯等臨時給付事業5億6,108万円の追加は、補正内容等欄記載のとおり、住民税非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情となった世帯に対し給付する臨時給付金及び事務費、同3項1目1468子育て世帯等臨時特別支援事業1億4,946万7,000円の増額のうち、（先行給付金）2,885万円の増額は、高校生対象分、また、臨時特別給付金1億2,000万円の追加は、当初、春の卒業・入学・新学期に向けて5万円相当のクーポン給付とされた給付金でございますが、下田市においては現金給付することとして、その給付金及び事務費を計上したものでございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、報第1号 専決処分の承認を求めることについてに係る、専第10号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第13号）の説明を終わらせていただきます。

御承認のほど、よろしくお願い申し上げます。

議長（滝内久生君） 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

9番 進士濱美君。

9番（進士濱美君） 1点、お願いいたします。

今の非課税世帯への給付金でございますが、これ、以前伺ったところでは、約3,800世帯が該当するということを伺っておりますが、これ5億6,000万円ですから、単純に言えば5,600件ということになるんですが、実数はどの程度、決まってきたのか。支給日が確定しているようでしたらお知らせください。

議長（滝内久生君） 福祉事務所長。

福祉事務所長（斎藤伸彦君） 予算計上時には最大心配される金額で予算計上させていただきました。今、実数を精査しておりまして、最終ではありませんが、余裕を持って3,200程度を事業費として考えているところです。

支給日につきましては確定しておりませんが、3月中に、中旬か下旬に第1回目の支払いができる予定であります。

以上です。

議長（滝内久生君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は、委員会に付託することを省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、報第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第13号））は、原案のとおり承認することに決定いたしました。

報第2号の上程・質疑・討論・採決

議長（滝内久生君） 次は、日程により、報第2号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第14号））を議題といたします。

当局の説明を求めます。

財務課長。

財務課長（日吉由起美君） 続きまして、報第2号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第14号））につきまして御説明申し上げます。

議案件名簿の2ページをお開きください。

報第2号 専決処分の承認を求めることについてでございますが、地方自治法第179条第1項の規定により、専第1号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第14号）を別紙のとおり、令和4年1月26日に専決処分したことにつき、同条第3項の規定により、議会の承認を求めるものでございます。

別紙ピンク色の補正予算書及び補正予算の概要を御用意ください。

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症の拡大による自宅療養者のための生活支援

及び本年度のふるさと納税による寄附金額の増額見込みによる返礼品等の予算不足等に早急に対応するものとして、専決処分したものでございます。

補正予算書の1ページをお開きください。

令和3年度下田市の一般会計補正予算(第14号)は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,190万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ137億5,638万円とするものでございます。

第2項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」によるというもので、予算書の2ページから5ページに記載のとおりでございますが、内容につきましては、補正予算の概要により御説明申し上げますので、補正予算の概要2ページ、3ページをお開きください。

歳入でございます。企画課関係、18款1項2目1節総務費寄附金5,000万円の増額は、ふるさと納税寄附金の歳入見込みの増によるもの、19款2項1目3節ふるさと応援基金繰入金1,100万円の増額は、システム使用料の増加に対応するもの。

市民保健課関係、16款2項3目1節県費・保健衛生費補助金90万円の増額は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金を受け入れるもの。

4ページ、5ページをお開きください。

歳出でございます。企画課関係、2款1項8目0248政策推進事業3,350万円の増額は、寄附金の増額見込みのため、返礼品及びシステム使用料を増額するもの。

市民保健課関係、4款1項2目2022感染症予防事業90万円の追加は、新型コロナウイルス感染症の拡大による自宅療養者の生活支援として、静岡県が対応困難な自宅療養初期3日間相当の食料品等を市が用意し、届けるものでございます。

福祉事務所以下の予算につきましては、いずれも寄附金の増額見込みにより、基金積立金を増額するものでございます。福祉事務所関係、3款1項6目1150ほのぼの福祉基金990万円の増、同3項10目1730子育て支援基金632万5,000円の増、産業振興課関係、5款2項5目3550みどりの基金137万5,000円の増、観光交流課関係、6款2項5目4385世界一の海づくり基金605万円の増、建設課関係、7款5項6目5465景観まちづくり基金82万5,000円の増、学校教育課関係、9款1項5目6040教育振興基金247万5,000円の増及び同6目6045奨学振興基金55万円の増でございます。7つの基金において、積立金を増額するものでございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、専第1号 令和3年度下田市一般会計補正予算

(第14号)の説明を終わらせていただきます。

御承認のほど、よろしく願い申し上げます。

議長(滝内久生君) 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

質疑ございますか。

2番 中村 敦君。

2番(中村 敦君) ふるさと納税寄附金5,000万円の増ということですが、当初予算2億5,000万円の中で少な過ぎるんじゃないかと、目標が低いんじゃないかというような御指摘もあったかと思えますけれども、晴れて5,000万円の増ということなんですが、それはどのような施策が功を奏したというふうにお考えでしょうか。

議長(滝内久生君) 企画課長。

企画課長(鈴木浩之君) 今回の増額の要因でございますが、1つは、事務的にはサイトの追加、ふるさと納税のオンラインサイトの追加、そして市内事業者さんと協力しまして返礼品の追加を今、積極的に進めているところがございます。またそれから、全体的な動きとしましては、コロナの影響の関係で在宅の生活が増えているということで、巣ごもりといえますか、在宅生活の中でふるさと納税の利用が増えているということ。それから昨年につきましては、10月、緊急事態宣言等が明けまして、旅行ですとか消費の関係が年末にかけてちょっと活性化したというか、そういう中でふるさと納税の寄附額が全国的に増加している中で、下田市についても増えてるという傾向がございます。

以上でございます。

議長(滝内久生君) 2番 中村 敦君。

2番(中村 敦君) はい、分かりました。来年度に向けて、また落ちることのないように、しっかり頑張っていたきたいと思います。

以上です。

議長(滝内久生君) ほかにございますか。

1番 江田邦明君。

1番(江田邦明君) 補正予算書の概要の5ページ、自宅療養者生活支援に関する事業のことで御質問させていただきます。

こちらの事業はたしか1月26日からの事業でというふうに私は認識しておりますが、2月2日にホームページの掲載があったと記憶しております。そのほかに対象となる方々への告

知が、これ非常に重要かと思われませんが、ほかの告知方法をされてるかどうか、お教えいただきたいと思います。

議長（滝内久生君） 市民保健課長。

市民保健課長（井上 均君） それでは、御質問のほうにお答えさせていただきます。

新型コロナの陽性者を対象と、自宅療養の皆様の方への支援ということですので、私たちのほうでは陽性の方を知り得ることはできない状況の中で、賀茂保健所のほうと協力体制を取ろうということで始まりました。当初2月1日からやる予定であったんですけども、1月26日に市内での音楽劇の観劇のクラスターが出たということで、急遽、前倒しでやりましょうということになりました。対象者のほうの特定につきましては、賀茂保健所の協力をいただきながら、こういう制度がありますよという周知を保健所のほうから陽性者の方にお話をさせていただいて、利用される場合には、市のほうに連絡をしてくださいというふうな形を取らせていただきました。

なお、予算で90万円計上させていただきましたのが、お一人当たり3日分で9,000円相当、一応100人分の予算計上をさせていただき、備蓄のほうもある程度、させていただいてるところでございます。

以上です。

議長（滝内久生君） ほかに質疑ございますか。

10番 橋本智洋君。

10番（橋本智洋君） 先ほどのふるさと納税の件で、ちょっと付随した件でございます。聞き逃したかもしれないですけど、令和3年のふるさと納税、概算でどのぐらいの納税額になったのか、また、令和2年と比べて、前年対比、どのくらいだったのかというのを教えていただきたいと思います。

それと、主な返礼品、こちらのほう、もし分かる範囲で構わないので、主な返礼品を幾つか列挙していただけたらと思います。

以上でございます。

議長（滝内久生君） 企画課長。

企画課長（鈴木浩之君） 実績でございます。まず、12月時点の比較ということで一回、御説明をさせていただきます。令和2年と比較しまして、12月までの時点でいきますと、件数でいきますと、前年比17%の増ということになっております。本年度、1万件の寄附をいただいております。金額のほうでは、昨年度比48%の増ということで、8,800万円ぐらいの増

加ということになっております。今年度につきましては、12月時点で約2億7,000万円、こちらについては今まで過去最高となっております。これらを見越した中で、年間の予想としまして3億円ということ掲げたというところでございます。

下田市の返礼品につきましては、旅行のクーポンですとか、宿泊券、それから長年の人気商品としまして海産物の関係が上位を占めております。

以上でございます。

議長（滝内久生君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は、委員会に付託することを省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、報第2号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第14号））は、原案のとおり承認することに決定いたしました。

議第1号～議第3号の上程・質疑・委員会付託

議長（滝内久生君） 次は、日程により、議第1号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（建築）請負契約の締結についての一部変更について、議第2号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更について、議第3号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事

(電気設備)請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について、以上3件を一括議題といたします。

当局の説明を求めます。

学校教育課長。

学校教育課長(糸賀 浩君) それでは、議第1号 令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(建築)請負契約の締結についての一部変更について、議第2号 令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(機械設備)請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について、議第3号 令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(電気設備)請負契約の締結についての一部変更についての一部変更についてを一括で御説明申し上げます。

最初に、議第1号 令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(建築)請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について御説明申し上げます。

議案件名簿の3ページをお願いいたします。

令和3年3月3日、議第4号で議決いただきました令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(建築)請負契約の締結についての一部変更についての一部を変更したため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

提案理由につきましては、工事内容の一部変更に伴います契約金額の減額のためでございます。

契約金額の一部変更につきましては、契約金額13億1,517万1,000円(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額1億1,956万1,000円)を133万5,400円減額いたしまして、契約金額を13億1,383万5,600円(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額1億1,943万9,600円)に改めるものでございます。

続きまして、主な変更内容について御説明申し上げます。

議案説明資料1ページを御覧ください。

1点目は、校舎棟の外部壁補修工事の変更でございます。

説明資料2ページの平面図に と記載してございます、北棟・南棟校舎の外部壁改修工事でございます。

当初設計時には、地上からの目視調査によりひび割れ箇所の確認を行い、補修箇所を総延長150メートルとして計上しておりましたが、本工事の足場設置後に調査を行った結果、事

前の目視では確認できなかったひび割れを確認したことから、ひび割れ補修工256メートルの増工となったものでございます。

2点目は、既存体育館改修工事における高窓修理工事の追加でございます。

既存体育館改修工事は、現体育館である武道場の改修を行うものです。

説明資料2ページの平面図に と記載してございます、既存体育館の北・東・南面に高窓が設置されています。この高窓につきましては、当初設計では現状のまま工事しない予定でございましたが、現場再調査の結果、高窓の開け閉めに不具合があることが判明したため、換気機能が十分発揮できるよう、窓の開け閉めを行うためのオペレーター7組の修理を行うこととし、高窓修理工及びその施工に伴う内部足場工345平米が追加となったものでございます。

3点目は、外構工事におけるテニスコート整備工事の見直しでございます。

事業費の不足見込みにより、12月定例会でお願いをした中学校整備工事費1,400万円の補正予算により、外構工事の一部のテニスコート整備工事を別途工事としたことから減となるものでございます。

事業費の変更につきましては、御説明申し上げました3点の変更にその他変更、諸経費等を加え、工事価格は減額123万2,000円となり、当初契約の請負比率0.985479を掛けて、減額121万4,000円、さらに消費税を加えた金額133万5,400円の減額変更となるものでございます。

続きまして、議第2号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について御説明申し上げます。

議案件名簿の4ページをお願いいたします。

令和3年3月3日、議第5号で議決いただきました令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部を変更したいため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

提案理由につきましては、工事内容の一部変更に伴います契約金額の増額のためでございます。

契約金額の一部変更につきましては、契約金額2億2,463万5,400円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額2,042万1,400円）を80万1,900円増額いたしまして、契約金額を2億2,543万7,300円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額2,049万4,300円）に改めるものでございます。

続きまして、主な変更内容について御説明申し上げます。

議案説明資料 3 ページを御覧ください。

主な変更内容は、既存体育館のトイレ改修工事における汚泥引き抜き清掃工の追加でございます。説明資料 4 ページの平面図に記載してございます、既存体育館のトイレの下側に縦 3メートル・横 2.8メートル・高さ 1.3メートルの配管メンテナンス用の部屋が 2 個ございます。そのピット内の既存排水管の劣化損傷により汚泥が流出しており、ピット内の汚泥引き抜き 12トン、清掃消毒作業が必要となったものです。

事業費の変更につきましては、汚泥引き抜き清掃工の追加分にその他変更、諸経費等を加え、工事価格は増額 73万 6,000円となり、当初契約の請負比率 0.990381 を掛けて、72万 9,000円、さらに消費税を加えた金額 80万 1,900円の増額変更となるものです。

続きまして、議第 3 号 令和 2 年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について御説明申し上げます。

議案件名簿の 5 ページをお願いいたします。

令和 3 年 3 月 3 日、議第 6 号で議決いただきました令和 2 年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部を変更したため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

提案理由につきましては、工事内容の一部変更に伴います契約金額の増額のためでございます。

契約金額の一部変更につきましては、契約金額を 2 億 8,262万 5,200円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 2,569万 3,200円）を 610万 1,700円増額いたしまして、契約金額を 2 億 8,872万 6,900円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 2,624万 7,900円）に改めるものでございます。

続きまして、主な変更内容について御説明申し上げます。

議案説明資料 5 ページを御覧ください。

1 点目は、構内配電線路設備工事における土工事の変更です。この工事は、変電設備から各建物等に電気を送るための配電線を埋設する工事で、説明資料 6 ページの平面図に として記載している校舎北側の赤色で示した範囲において、当初は土砂掘削であったものに対し、岩盤掘削工事が必要となり、岩盤掘削・運搬処分 96立米の追加及び土砂掘削 96立米の減となったものです。

2点目は、仮設校舎における情報通信設備の追加です。仮設校舎でのタブレット端末の利用に関しましては、校舎のWi-Fi環境を利用し、インターネットに接続する形式を予定していましたが、学校による接続テストの結果、生徒が一斉に各自の端末からインターネットにアクセスする場合、不安定な通信となることが確認されました。このため、生徒の学習に支障が出ないように、説明資料6ページの平面図に として記載のとおり、仮設校舎にもLANケーブルを168メートル配線し、アクセスポイントを設けることとしたものでございます。

事業費の変更につきましては、ただいま御説明申し上げました2点の変更にその他変更、諸経費等を加え、工事価格は増額567万1,000円となり、当初契約の請負比率0.97822を掛けて554万7,000円、さらに消費税を加えた金額610万1,700円の増額変更となるものでございます。

次に、議案説明資料7ページを御覧ください。

令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事につきましては、債務負担限度額18億3,328万円でございます。令和2年7月臨時会において議決をいただいた各契約の契約額合計は18億565万円でございます。

令和3年3月定例会において契約の一部変更について議決をいただき、契約額合計18億2,243万1,600円に変更となり、今回、建築・機械設備・電気設備の変更額合計556万8,200円の増額となり、変更後の契約額合計18億2,799万9,800円となるものでございます。

なお、下段に参考と記載しております、12月補正で増額をお願いしたテニスコート整備工事を別途工事とした分の契約額と合わせた合計額は18億4,162万8,800円となっているところでございます。

以上、大変雑駁な説明でございますが、議第1号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（建築）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について、議第2号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更について、議第3号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更についての説明を終わらせていただきます。

御審議のほど、よろしく願いいたします。

議長（滝内久生君） 沢登議員、マスクの着用をお願いします。

議第1号から議第3号までの当局の説明は終わりました。

これより各議案ごとに質疑を行います。

まず、議第1号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（建築）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 質疑はないものと認めます。

お諮りいたします。

本案は、委員会に付託することを省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、議第1号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（建築）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次に、議第2号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更についてに対する質疑を許します。

6番 佐々木清和君。

6番（佐々木清和君） おはようございます。トイレの改修の関係で、既存排水管の劣化損傷による流出汚泥処理の追加、汚泥処理は分かりましたけども、原因となる既存排水管の修理に対する予算はどういう形になってるんでしょうか。引き抜きに合わせ、修理しないといけないと思うんですが、その辺の考えをお聞かせください。

以上です。

議長（滝内久生君） 学校教育課長。

学校教育課長（糸賀 浩君） 御質問いただきました既存排水管の修理につきましては、この中学校につきましては、現在で築37年を経過している施設でございます。当初の計画において排水管をやり替える予定がございました。実際、その破損している箇所は修理を、取替え修繕を実施しております。

以上でございます。

議長（滝内久生君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は、委員会に付託することを省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、議第2号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次に、議第3号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更についてに対する質疑を許します。

質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 質疑はないものと認めます。

お諮りいたします。

本案は、委員会に付託することを省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、議第3号 令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更についての一部変更については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

会議時間の延長

議長（滝内久生君） ここで会議時間を延長します。

この後、請願第1号 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願の審議のため、総務文教委員会を開催しますので、暫時休憩といたします。

なお、説明員の出席はここまでとします。お疲れさまでした。

午前 10時53分休憩

午後 3時10分再開

委員長報告・質疑・討論・採決

議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

日程により、総務文教委員会に付託いたしました、請願第1号 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願を議題といたします。

これより総務文教委員長から、委員会における審査の経過と結果について報告を求めます。

2番 中村 敦君。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

総務文教委員長（中村 敦君） 総務文教委員会審査報告書。

本委員会に付託された議案は審査の結果、次のとおり議決すべきものと決定したので報告します。

記。

1. 議案の名称。

1) 請願第1号 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願。

2. 審査の経過。

2月7日、第1委員会室において、請願審査のため委員会を開催し、参考人として請願者より長友くに氏、紹介議員より沢登英信氏の出席を求め、それぞれの意見を聴取の上、慎重に審査を行った。

なお、委員会での各委員の質疑等の発言の要旨は会議録記載のとおりである。

3. 決定及びその理由。

1) 請願第1号 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願

決定、賛成少数により不採択。

理由、核廃絶は全世界の願いであり、唯一の核被爆国である日本は当然にそのリーダーシップを執るべきである。しかし、その実現には核抑止力によらない世界の安全保障体制の確立が先決である。また、核兵器廃絶には全世界の足並みそろえたアプローチが重要であり、核兵器禁止条約への性急な批准は、同盟国との連携の上でも国民の安全を脅かすことになりかねない。さらに、下田市では、国や県への意見書は全会一致をもって提出してきた。たとえ請願であっても、その内容が意見書の提出を求めるものであれば、過半数で採択することは下田市議会のこれまでの先例上好ましくない。などの反対意見が多数となり、不採択となった。

以上、報告です。

議長（滝内久生君） ただいまの総務文教委員長の報告に対し、質疑を許します。

13番 沢登英信君。

沢登議員、マスクの着用をお願いします。

13番（沢登英信君） 残念ながら少数意見により不採択だと、こういう結論でございますが、なぜ不採択としたかという理由がそこに記されているわけでありませう。

第一に、抑止力によらない世界の安全保障体制の確立が先決だと、こういう御意見のようでございますが、これは具体的に何を指しているのかと。具体的に何を言っているのかということをお尋ねをしたいと。私の考えから言えば、毒ガスや、あるいはこの地雷を禁止する条約ができてると、ハーグ条約ができてると。そういうことが無駄な殺傷をしないと、安全保障の体制をつくっていくと、こういうことの具体的な内容になると思うわけでありまして。核抑止力によらないということは、核兵器をつくらない、それを使わない、そういうものを使って脅かさない、ということがまず第一に世界の安全保障体制の確立に寄与する内容そのものの1つだと思うわけです。そういうことと対立させて、世界の安全保障体制の確立が必要だと言うんなら、その内容はどういうことなのかということの御説明を求めたいと思います。

それから、下田市では国や県への意見書を全会一致をもって提出してきた。たとえ請願であっても、その内容は意見書を提出を求めるものであれば云々と、大川議員が代表して述べられたかと思うわけでありまして、実態的には請願は当市議会はそういう扱いをしてきていないわけでありまして。請願については多数決で議決をすると、こういうことは原則として進められてきているわけです、現実には。先日の加増野におきます林地開発、太陽光発電に伴う林地開発の請願も、請願署名も多数決で議決がされている、こういう経過を踏んでいようかと思うわけでありまして。内容的には全会一致という形になったかとは思いますが、そういう形のものではなかったかと思うわけでありまして。ですから、そういう意味で、先例上好ましくないというのは、議会の実例からいっても、ここにこのような文案で、この理由とすることは当たらないんじゃないかと私は思うわけでありまして。

そういう点で、この2点について、委員長にお尋ねをしたいと思っております。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

総務文教委員長（中村 敦君） 具体的に安全保障体制の確立とは何かというようなことですけれども、ここに書かれていることは、あくまでも反対意見としてこのような意見が出たということを書かせていただいたわけであって、それ以上の具体的なその手法とかについての議論はございませんでした。

そして、先例上好ましくないという部分についてですけれども、これも同じく、反対意見としてこのような意見が出たのであって、これについてそれ以上の議論はございませんでした。

以上です。

議長（滝内久生君） 13番 沢登英信君。

13番（沢登英信君） そういう意見が出たから、ここにその理由として書いたんだと。そんな委員会なんですか、意見が出たからそれを書くんじゃないで、それは委員会としてのまとめた意見として、ここに反対理由を書いているんじゃないんですか。そうだとすれば、もう一度、休会取っていただいて議論をしていただいて、その内容を吟味して、委員会としてどういうことで反対したのかということを明らかにしてくださいよ。そういう意見があるから書いたんだと。じゃあ賛成意見もあったのは、何でここに書かないんだと、こういう議論になるわけです。違いますか。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

総務文教委員長（中村 敦君） ここに書かれている理由については、委員会でもんで決定した文言になっております。つまりは、この賛成意見、反対意見が出る中で、やはり反対意見者の意見を聞いた、例えば迷っていた方が反対意見を聞いて、それによって自分の考えを決定し、挙手をしたということなので、ここに書かれていることは委員会の討論と、そしてその決定そのものであります。

以上です。

議長（滝内久生君） 13番 沢登英信君。3回目です。

13番（沢登英信君） 繰り返しになりますけども、そうだとすれば、委員会でもんで、その理由を明確にして、だから反対だと。こういう形式になってるわけですから、委員長が世界の安全保障体制の確立が先決であると結論づけてるわけです。その内容は何だか説明もできないと。こんなことで委員会が納得できるわけないと思うわけです、私は。少なくとも世界の安全保障体制の確立が先決であるという、大変高所から述べてる意見だと思うわけです。その内容はどういうものかも説明できないなんていうようなことであっていいんでしょうか。そこだけ最低聞きたいと思います。下田市の議会は、総務文教委員会はそういう委員会ではないと、こういうことを市民に知らしめてよろしいかと。いかがですか。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

総務文教委員長（中村 敦君） 具体的に安全保障体制とは何かと、これは極めて高度な、外交上、政治上、安全保障上の極めて高度な判断になるかと思えます。それについて、残

念ながら、我が総務文教委員会はそこまでの議論を深めることはございませんでした。申し訳ございません。

以上です。

議長（滝内久生君） ほかに質疑はございますか。

1番 江田邦明君。

1番（江田邦明君） 審査の経過に関係して御質問させていただきます。

この核兵器禁止条約への署名、批准を求める意見書につきましては、これまで過去に令和2年9月、令和2年12月、令和3年3月の定例会前の各派代表者会議において議員からの提案があった内容でございます。今回、請願者から出されました請願に併せて、意見書案というものがついております。この案の文書につきましては、さきだって令和3年3月に出了ました議員からの意見書の案と文脈、文章の構成がほぼほぼ一致してる内容でございます。この請願における意見書の提出が市民の方、請願者主導のものであるのか、または議員からの何かしらの要請があつて、こういった請願が出されてることかについて、委員会の中では質問や答弁等があつたか、お尋ねしたいと思います。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

総務文教委員長（中村 敦君） その点については質疑がございました。この請願については、長友くに氏の一市民としての請願であります。その経緯の説明がございましたので、説明申し上げます。請願者は議会の広報などを通じて、下田市はこの核兵器禁止条約批准を求める意見書を提出できていない、その事実を知り得たという中で、やはりこれは出すべきであろうという請願者の判断により、たまたま何かしらの会合があつたときに、その話をしたところ、会合の出席者の多くがそれについて署名をしてくれた。それがこの請願書の署名になっているわけですけれども、それによって請願者はこの請願を出してきたということです。

以上です。

議長（滝内久生君） 1番 江田邦明君。

1番（江田邦明君） それでは、その会合の中に、今回紹介議員となつての方の出席があつたかどうかについての審議の経過があつたかどうか、お尋ねしたいと思います。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

総務文教委員長（中村 敦君） そこについては審議、質疑はありませんでした。なので分

かりません。

議長（滝内久生君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって総務文教委員長に対する質疑を終わります。お疲れさまでした。

以上で委員長報告と質疑を終わります。

これより討論、採決を行います。

請願第1号 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願を討論に付します。

本請願に対する委員長の報告は不採択とすべきものであります。

まず、本請願を採択すべきものとするに賛成意見の発言を求めます。

13番 沢登英信君。

〔13番 沢登英信君登壇〕

13番（沢登英信君） 請願第1号、令和4年1月12日、長友くに外11名のこの請願は、採択すべきものという立場からの討論をさせていただきます。

御案内のように、日本国は国是として非核三原則なるものを明確にしていまっています。核兵器をつくらない、使わない、持ち込ませない、この三原則でございます。そして、このような立場から各自治体では非核都市宣言なるものをしていっているわけであり、国是だけではなくて、各自治体として核兵器に市民は関わらないんだと、核戦争に巻き込まれないように、この黒船祭があっても、米軍の艦船は核兵器をこの下田港には持ってこない、こういうことを含めて、平成21年12月11日に非核都市宣言を下田市は石井直樹市長の提案の下に議決がされ、役所の前や伊豆急駅前や、あるいは市民文化会館の前に非核都市宣言文が掲げられているわけであり、そういう下田市であるということが第一ではないでしょうか。国際観光都市下田としての発展を目指していこうと、核兵器を持っているアメリカや、あるいはロシアに対しても、ソビエトに対しても、ちょっと国の名前が順番に変わってきてるようですが、対しても、下田市はそういう都市だと、世界の平和、核兵器の廃絶を求める市民の多くが暮らしてるまちですよと、よろしく願いしますと、こういうことを明確にしていまっているわけであろうかと思えます。

そして、核兵器をなくせの運動は既に77年目を迎えようと思いますが、被爆者の皆さんがまさに命をかけて、人生をかけて、日本から、世界から核兵器をなくそうという運動をいっているわけであり、これらの運動が全世界で受け止められるようになって、今日、

核兵器禁止条約なるものがコスタリカ、あるいはマレーシアが提案し、2017年の7月7日に国連で122か国が賛成をし、採択をされ、2020年の10月にホンジュラスが50か国目の批准国として批准がされ、2021年1月22日、まさに1年ほど前に発効をしたと、こういうことになっているわけであります。そして間もなく第1回目の国際会議が開かれるという運びになろうとしているわけであります。

この核兵器禁止条約の前に、皆さん、御案内のように、1963年には核拡散防止条約なるものが5か国から提案をされ、191か国で2015年に参加され、国際条約となっているわけであります。アメリカ、ロシア、フランス、イギリス、中国、核保有国5か国以外では核保有をしてはいけないと、簡単に言ってしまえば、こういう条約でございますが、実態には既に北朝鮮やインド、パキスタン、イスラエル、4か国も増え、9か国が核保有国となっているということは、スウェーデンのストックホルム国際平和研究所と連携をした広島市の発表している統計資料等にも明らかとなっているところでございます。核拡散防止条約、こういう条約では核兵器をなくすことはできないと、こういう国際的な思いの中から核兵器の禁止条約、国連で提案され、現在を迎えて、1年を迎えているわけであります。

そして、既に日本政府に対して核兵器禁止条約の参加、署名、批准を求める意見書採択をしている自治体は628自治体に上がってきているわけであります。約1,700からの各自治体があるかと思いますが、35%を超える自治体が核兵器はなくしたほうがいい、政府はそういう姿勢をぜひ取ってほしいと、こういう意見書を採択してまいっているわけであります。

こういう趣旨からいって、この趣旨に私は反対して、批准をしなくていいんだと、こういう方は誰もいないんじゃないかと思うわけであります。そして、その理由なるものが、政治的な立場から被爆者の思いや等々を残念ながら真正面に受け止める姿勢を取らずに、核保有国と核を持っていない国の仲立ちをするんだと、だからそれには署名できないと、こういう言い方をされますが、核兵器禁止条約を批准してくれという意見書を出すと、そういう活動ができなくなるというようなことは全くないわけです。批准をしないという、この意見書を出さないというためにする議論でしかない、私にはそうしか理解ができないわけであります。

このような核戦争を食い止めようと、被爆者を再びつくりたくないような社会をつくらうという、人道主義の立場に立ちました、この姿勢をぜひとも多くの議員の皆さんに御理解をいただきたいと。時の政権や時の権力に左右されることなく、モラル、人道主義の立場に立って、この請願の案件をどうしたらいいかと、賛成すべきなのかという判断をお願いをしたいと、

こういう具合に思うわけでありませぬ。

そういうことから、意見書として三たび皆さんにお願いをしてきました。そして、鈴木議員のほうからの反対をもちまして、残念ながら全員参加を勝ち取ることができませぬで、今日の状況となっているわけでありませぬ。私が決して長友くにさんをお願いをして、請願にすれば通るから請願にきなさいよと、こういうことをしたわけではないわけでありませぬ。ぜひともそこら辺を十分に御理解をいただき、先ほど申し上げましたように、請願されたものは今議会では市民の大切な意向、意見として、多数決をもって議決をすると、こういうスタイルを取ってきているわけでありませぬので、今案件につきましても同様な扱いをもって進めていただきたいと思うものでございませぬ。

以上です。

議長（滝内久生君） 次に、反対意見の発言を許します。

3番 鈴木 孝君。

〔3番 鈴木 孝君登壇〕

3番（鈴木 孝君） 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願に反対の立場で意見を述べさせていただきます。

2021年1月22日、50の国の批准をもって核兵器禁止条約が発効されました。この条約は核兵器を初めて禁止した画期的な国際法規範であり、この条約が核兵器の開発、保有、使用のみならず、使用による威嚇をいかなる場合も禁止したことで、従来からの核抑止の考え方に一石を投じたことは間違いありません。

しかしながら、安全保障上、核は必要とする核保有国には受け入れ難い規定であり、非保有国でも日本や韓国、NATO・北大西洋条約機構加盟国のように米国の抑止力に自国の安全保障を依存する核の傘の下にある国々にとっては、この条約に今すぐ署名、批准することは現実ではない状況であります。

ただ、唯一の被爆国である日本は、核兵器廃絶に向けて行動を起こさなければなりません。どのように進めていくべきでしょうか。日本は核兵器禁止条約締約国会議にはオブザーバーとして参加することにより、核兵器保有国と非保有国、条約に署名、批准した国としない国との対話の橋渡しを務め、核抑止によらない安全保障体制を検討し、構築することが国際的な潮流になることを実現し、その上で核兵器禁止条約への批准、核廃絶の道を進めていくことが必要と考えます。

締約国会議に参加して、対話によりどうやったら核兵器をなくせるかということを進めて

いくべきということで、先に批准することは我が国の安全保障上、日本の国民を守るため、世界の平和のためには、先にすることではないと考えます。

以上が反対の立場での意見でございます。

議長（滝内久生君） ほかに討論はありませんか。

12番 大川敏雄君。

〔 12番 大川敏雄君登壇 〕

12番（大川敏雄君） 私は、請願第1号 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願について、委員長の報告どおり不採択にするということが妥当という、そういう立場から意見を述べさせていただきたいと思います。

この条約は苦難、苦悩を心身ともに背負いながら、被爆者の皆さん方が再び被害者をつくらぬという強い思いの中に核兵器の恐ろしさ、悲惨さを世界に向けて発信し続けてこられたことが多くの国を動かし、結実したものと私は本条約を理解しております。この条約によって、核兵器使用は壊滅的な人道上の結末をもたらすという認識を多くの国が共有したことは、これは大きな成果だと思えます。我が国は唯一の戦争被爆国として核兵器の恐ろしさ、非人道性をあらゆる手段、機会を捉えまして、国際社会に核兵器の廃絶の取組をリーダーシップを持って進めていくことが重要と思えます。

日本は唯一の戦争被爆国として非核三原則を堅持し、核兵器のない世界を実現するため、国際社会において主導的な役割を担うよう、全力を尽くして取り組んでいくべきと私は思います。その第一段階として核兵器禁止条約の批准、署名を目指すべきであるというのが個人的意見です。ただし、委員長のこの報告の理由の中にも明確に書かれておりますように、本市において、いわゆる下田の議会においては、国や県への意見書は全会一致をもって提出するということが長年、いわゆる執行されておりました、私はこの手続は今も妥当と判断をしているわけでありませぬ。

したがって、仮に請願であっても、当然この意見書というのは、発議は議員に権限があるわけでありまして、そういうことで、いわゆる請願でも内容が意見書の提出を求めるものであれば、過半数で採決をするということは、私はまずいと、こういう立場でございます。そういう意味では、この報告どおり、後半の理由によって不採択にすることが妥当と思えます。これから我々、議員同士、お互いに意見を交換し合いながら、この批准に向けて努力することだとか、また、私個人は国会議員などに対して、やはりこの批准を、あるいは署名の活動を展開すべきであるという、そういう活動はさせていただきたいと思うものでございます。

そういう意味で、私は不採択に賛成をする立場であります。

以上です。

議長（滝内久生君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって討論を終わります。

採決いたします。

本請願に対する委員長の報告は不採択とすべきものでありますので、本請願については起立により採決をいたします。

本請願は、採択すべきものとするに賛成の諸君の起立を求めます。採択に賛成の起立を求めております。

〔賛成者起立〕

議長（滝内久生君） 起立少数であります。

よって、請願第1号 「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願は、これを不採択とすることに決定いたしました。

議長（滝内久生君） 以上で、本臨時会に付議されました案件の審議は全て終了いたしました。

これをもって令和4年2月下田市議会臨時会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

それでは、3時50分より議会全員協議会をこの議場において開催しますので、御参加お願いいたします。

午後 3時44分閉会